

## 学年末試験に向けた効果の上がる勉強方法とは

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに

- (1) 全国の小学校・中学校・高校では、2月中旬から下旬にかけて学年末試験が行われます。
- (2) 学年末試験の目的は、全教科についてよく勉強したかどうか、「学年末の評価」をすることです。
- (3) ですから、十分に準備をして学年末試験に臨み、よい点数を取ることを目指しましょう。

## 2. 学年末試験でよい点数を取るには

- (1) まずは、全教科について、学校の教科書、教材、問題集を「授業中のノート」を見ながらスミからスミまでよく「理解」することです。
- (2) 十分に「理解」したら、スミからスミまで一語残らず身に着けること・「定着」させることです。
  - ① 記憶があやふやで「定着」ができていないと、どんなテストでもよい点数が取れません。
  - ② 「定着」のために役に立つのが
    - (ア) 「音読練習」(スラスラとよく読めるようになるまで大きな声を出して読む)
    - (イ) 「書き取り練習」(楷書で正確に書けるようになるまで書き取り練習をする)
    - (ウ) 「計算・問題練習」(計算や問題を見たら、条件反射で正解がパッパッパッと出るようになるまで何回も計算・問題練習を行う)以上の3つの練習です。

(3) この「3つの練習」を「定着のための3大練習」と私は名付けました。

(4) よく「理解」した内容について「定着のための3大練習」を繰り返し行い、教科書や教材、「問題集、授業中に取ったノートなどをスミからスミまで身に着ければ、学年末試験で誰でも全教科100点満点を取れます。

(5) 「練習は不可能を可能にする」ということばがあります。「定着のための3大練習」で「学年末試験で全教科100点満点を取ることができます」

(6)①ただし、よく理解していない内容をひたすら覚えるよりは、十分に「理解」した内容を身につける練習をするほうがやる気が出ますので、まずは「理解」に努めてください。

②また、定着のための練習には時間がかかりますので、「長時間の自己学習」にも挑戦してください。

(7)何よりも、学年末試験でよい点数を取るための勉強が役に立つのは4月からです。1年間の学習内容を学年末試験に向けた勉強を通してしっかりと再学習して「理解」し直し、それをスミからスミまで身につけておくと、4月からの新しい学年の内容がよくわかるようになるからです。新しく学ぶものごとを100%完全に「理解」するには、それまでに学んだ内容を100%「理解」して身につけておくことが大切です。

(8)学校で学んだことは、すべて社会に出てからも役に立ちます。学校時代に勉強した教科書や教材、授業中に取ったノートなどは学年が終わったからといって絶対に処分しないこと。全教科とも一生役に立ちますので、学校を卒業してもきちんと保存して、一生に渡って学び続けてください。

(9)教育ある人とは、一生学び続ける人のことをいいます。学校時代に学んだことを何回も学び直し、新しいことにも挑戦し続ける。これが「教育ある人」です。

### 3. おわりに

(1)学年末試験でよい点数、できれば100点満点を取るために、学校の教科書や教材、問題集、授業中に取ったノートなどを十分に「理解」し、その「理解」した内容についてスミからスミまで覚える。「定着のための3大練習」つまり「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」をしてスミからスミまで覚えて、100点を取ることはどのような意味があるかを最後に考えたいと思います。

(2)よい点数が取れば、学年評価がよくなります。学年評価がよくなれば、上級学校に進学するときの調査書や就職試験に提出する成績証明書の内容がよくなりますので、進学や就職に役に立ちます。

(3)学生支援機構や進学先の学校、企業・団体などから奨学金を借りたり、給付を受けたりするときも役に立ちます。

(4)学校時代に身につけた「学習の仕方」も社会に出て役に立ちます。この学年末試験で効果の上がる「学習方法」を身につけ、社会に出てから役に立ててください。

2016年2月8日(月)CRT とちぎ放送スタジオで収録した内容です。

林 明夫